

# FRP防水遮熱トップコート PC-009TP(NS)

FRP防水遮熱トップコートは、赤外線を反射する特殊顔料を使用する事で太陽光による塗装表面層の温度上昇を抑え、室内の温度上昇を緩和します。

## 特長

- ① 優れた遮熱性能を発揮します。  
(日射反射率の高い顔料を使用)
- ② 日射による塗装表面の温度上昇を低減します。  
(ヒートアイランド現象緩和)
- ③ 耐候性や耐水性は従来の防水トップコートと同等の性能です。
- ④ 環境省のグリーン購入法基準適合  
(環境物品等の調達の推進に関する基本方針)

※1 グリーン購入法の基本方針(平成22年2月閣議決定)の判断基準の高日射反射率防水規格(※2)を満たしたもの

※2 高日射反射率防水の定義

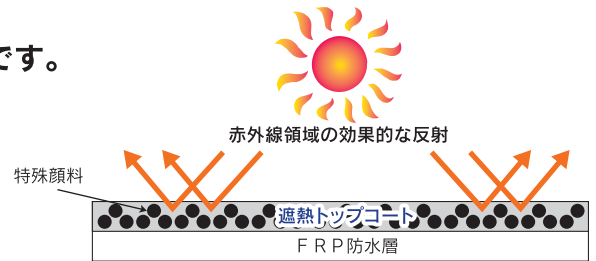
近赤外域における日射反射率が50.0%以上であること。

備考) 1 本項の判断の基準の対象とする高日射反射率防水は、日射反射率の高い顔料が防水層の素材に含有されているもの又は日射反射率の高い顔料を有した塗料を防水層の仕上げとして施すものであり、建築の屋上・屋根等において使用されるものとする。

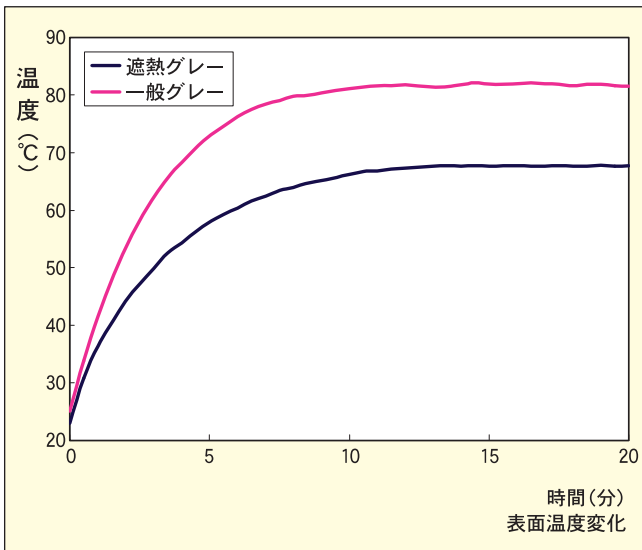
2 日射反射率の求め方は、JIS K5602に準じる。

## メカニズム

特殊顔料により太陽エネルギーの50%を占める赤外線(780~2500nm)領域を効果的に反射します。



## 遮熱性の効果



表面温度測定

遮熱グレー	67.7℃	温度差 13.8℃
一般グレー	81.5℃	

〈試験片〉

ブリキ板→FRP積層(450GM1プライ)→

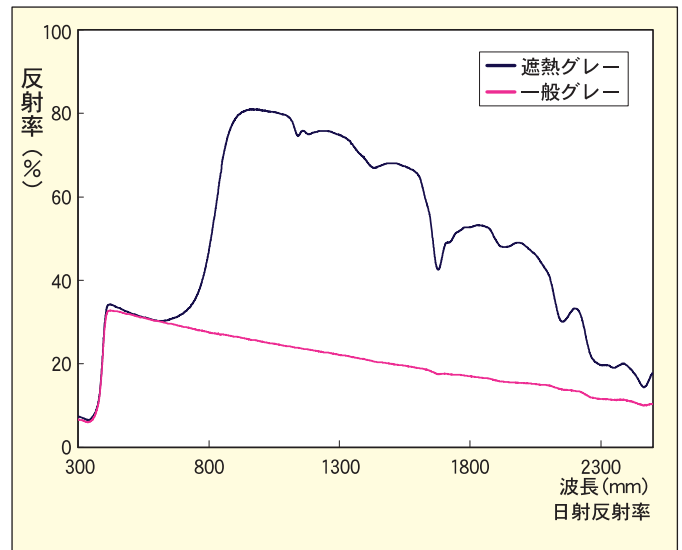
〈試験方法〉JIS K5602に準ずる

トップコート塗布(遮熱・一般)

〈試験方法〉30cmの高さから赤外線ランプを20分

照射し、試験片表面の温度上昇を測定

※試験値は測定値であり保証値ではありません。



反射率測定

遮熱グレー	66.5%	66.5%
一般グレー	23.3%	*高日射反射率防水50%以上

〈試験方法〉

JIS K5602に準じる

※試験値は測定値であり保証値ではありません。

## 適用工法

FP-100工法、 FP-200工法、 FP-1000工法、 FP-2000工法、  
FP-2100工法、 FP-2200工法、 FPパーキング工法

※国土交通大臣認定工法も使用可。

※FP-1000工法、FP-2000工法は、NS(ノンスリップ/骨材入り)タイプのみ使用可。